

# 鹿児島市平川動物公園遊園地・錦江湾公園リニューアル基本構想(素案) <概要版>

## 第1章 背景と目的

平川動物公園に併設している遊園地は昭和47年に開園し、これまで遊具の入替をしながら、多くの方に利用いただいているますが、設置から30年を経過した遊具も多く、一部では老朽化により、相当な補修費用が見込まれる状況です。

隣接する錦江湾公園は、昭和62年に開園し、バラ園をはじめ、大型遊具やキャンプ場を有するとともに、展望広場からは桜島や錦江湾を一望することができます。しかしこちらも設置から30年を経過した公園施設が多く、一部では使用禁止となっている遊具もあります。また、キャンプ場は、夏場のみの利用となっているなど、多様化する利用者ニーズと相違がある状況です。

これまで、これらの課題解決に向け、それぞれの施設では、民間の資金・ノウハウを用いる民間活力導入を検討し、民間事業者と対話調査を実施してきました。その中で、各施設単体での民間事業者による独立採算事業の実施は困難との意見があつた一方で、錦江湾公園で収益事業を行い、利益の一部を遊園地の改修に充当できる可能性があるなどの意見もいただきました。

このような背景を踏まえ、隣接している平川動物公園遊園地と錦江湾公園を一体的に活用し、魅力向上を図るためにリニューアルに向けた取組を検討するため、「鹿児島市平川動物公園遊園地・錦江湾公園リニューアル基本構想」を策定することとしました。

## 第2章 平川動物公園・遊園地と錦江湾公園の現状・課題

### ■施設概要

平川動物公園と錦江湾公園は鹿児島市南部の谷山地域に位置する都市公園です。各公園の基礎情報は下記のとおりです。

平川動物公園・遊園地	錦江湾公園
・設置年：昭和47年10月設置 ・管理運営：指定管理者制度	・設置年：昭和62年3月設置 ・管理運営：業務委託 ※一部施設は除く



### (平川動物公園・遊園地の問題点)

遊具のうち、チェーンタワー、飛行塔及び観覧車等は設置から30年以上が経過するなど老朽化が進んでおり、このうち観覧車は乗籠更新で、相当な補修費用が見込まれます。

### (錦江湾公園の問題点)

多くの公園施設が設置から30年以上が経過し、フィールドアスレチックは、一部が使用禁止となっているほか、テントサイトでは一部に腐朽が見られている状況です。また、キャンプ場は、夏場のみの利用となっているなど、多様化する利用者ニーズと相違がある状況です。

## ■施設間での連携

平川動物公園と錦江湾公園は隣接していますが、立地状況(両施設間の市道/高低差)、料金徴収の有無、異なる管理運営方法、両施設間の相互情報発信がないなど、連携が図りにくい状況です。一方、平川動物公園の錦江湾公園側には臨時ゲートがあり、繁忙期は開放しているなど、両施設の連携を図ることで、各施設単体ではなくエリアで一体的に魅力向上を図ることができるポテンシャルを有しています。

## ■渋滞状況

利用者が集中する際に周辺道路で渋滞が発生しています。発生原因は駐車台数の不足・駐車場入口での料金徴収に時間がかかることが考えられます。一方、渋滞発生が想定されるピーク時は、臨時駐車場を設けており、平常時は既存の駐車場で対応可能な状況です。

## ■現状・問題点を踏まえた施設の課題

整理した現状・問題点とそれを踏まえた課題を以下に整理しました。これらの課題解決には、相当な費用を要するため、本市だけで実施するのではなく、民間の資金・ノウハウを用いる民間活力導入を検討することとし、各種調査を行うこととしました。

	現状・問題点	課題
全体	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の老朽化等に対する費用増</li><li>・両施設間の移動が難しいなど、十分な連携が図られていない</li><li>・ピーク時の渋滞発生</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・民間の資金・ノウハウを活用する民間活力導入の検討</li><li>・両施設の連携強化によるエリア一体での魅力向上</li><li>・駐車場におけるスムーズな入出庫などの改善策</li></ul>
平川動物公園 遊園地	<ul style="list-style-type: none"><li>・遊園地遊具の老朽化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化の度合いや利用者ニーズ、費用面などを考慮した遊園地遊具の更新等</li></ul>
錦江湾公園	<ul style="list-style-type: none"><li>・遊具・キャンプ場等の老朽化、多様化する利用者ニーズとの相違</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・老朽化の度合いや利用者ニーズ、費用面などを考慮した遊具・キャンプ場等の更新等及び必要機能の追加</li></ul>

## 第3章 リニューアルの検討に係る調査

第2章で整理した課題に対し、民間活力導入の可能性を検討するため、各種調査を実施しました。

### ■ニーズ調査

平川動物公園遊園地及び錦江湾公園の利活用に対する要望を把握するため、鹿児島市内及び市外九州圏内の住民を対象にしたWEBアンケート調査と現地ニーズ調査を令和6年度に実施しました。調査の結果、各公園で求められる機能は次のとおりです。

#### 【平川動物公園遊園地】

①遊具で遊べる場所
②飲食場所
③イベントの実施

#### 【錦江湾公園】

①遊具で遊べる場所
②飲食場所
③アウトドア活動ができる場所

### ■サウンディング型市場調査

#### (1) マーケットサウンディング調査

平川動物公園遊園地・錦江湾公園のリニューアル事業に対して、民間活力の導入可能性等を把握するために、民間事業者との意見交換としてマーケットサウンディング調査（アンケート・対話）を令和6年度に2回実施しました。

本事業に興味・関心を持って参加された民間事業者から挙がったハード整備に関する主な意見は以下のとおりです。

	民間活力の導入可能性	その他意見等
遊具 メーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具は現状のまま市が所有し、運営委託を民間が行う可能性はある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物園に併設する遊園地という独自性は魅力</li> <li>遊園地の大規模なリニューアルは必要なく、平川動物公園の集客力を活かすのが良い</li> <li>既存遊戯施設の改修案の一つとして、動物のモニュメントを加えるなどの外観リニューアル</li> </ul>
飲食 事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店だけが頑張る(1社のみ参入)ことは難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>錦江湾公園は雑木林がかなり鬱蒼としており、整地が必要な状態である中で、このまま出店しても集客効果が一過性のものになりやすい</li> <li>動物たちが見られるカフェ等、継続的な集客には体験のストーリー性が重要であり、実現には大手企業の力が必要</li> </ul>
アウトドア 事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州での事業が飽和に近い状態にあり、参入は難しい</li> </ul>	—
その他 事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者のみで遊園地遊具の更新、運営を行うのは難しい</li> <li>料金設定の面から民設民営に切り替えることはハードルが高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場の認知度が低い</li> <li>キャンプ場の成功例は少ない</li> </ul>

### 立地条件や料金設定などから、民間事業者のみでの遊具、飲食店、アウトドア施設の整備は困難

一方で、その他、以下の意見が挙がりました。

- 夜のイベント実施や動物公園の飲食店を遊園地に隣接させる等で収益はあげられるのでは
- 飲食店としてコンテナ型のカフェでも出店の可能性はある
- 動物園の集客を活かせる現遊園地のゾーンに販売店やカフェ等の飲食施設を導入すべき

- 動物とキャンプを絡めた連携や仕組みづくりがあれば良い
- 錦江湾公園を農園にし、収穫した野菜を動物に給餌する等の動物園と連携した事業実施で愛着をもてる仕組みができる
- 臨時ゲートを常時開放し、行き来を可能にしないと、錦江湾公園の利活用は難しい
- 動物公園から出た動物の粪を堆肥として錦江湾公園で利用するとアピールになるのでは
- 錦江湾公園で小動物とふれあいができる体験が面白い

イベント実施やコンテナ型のカフェ等の提案があったことも踏まえ、一時的な公園占用等での民間活力の導入可能性を探るために、トライアルサウンディング調査を実施

平川動物公園・遊園地と錦江湾公園の連携についての提案があったことから、各面からの連携を検討  
**【ハード施策】**  
 両施設を散策しやすくする改修 等  
**【ソフト施策】**  
 情報発信 等  
**【体験型施策】**  
 キャンプ利用者動物公園特別ツアーやカリ栽培体験 等

## (2) トライアルサウンディング調査

トライアルサウンディング調査は対象敷地において暫定利用をしてもらい、民間事業者から意見を聴取することで、民間事業者のアイデアの効果を検証できる調査です。

平川動物公園遊園地・錦江湾公園のリニューアル事業に対して、一時使用等に関する事業性の確認や事業のアイデア等を含め、ソフト施策における民間活力導入の可能性を把握するため、トライアルサウンディング調査を実施しました。

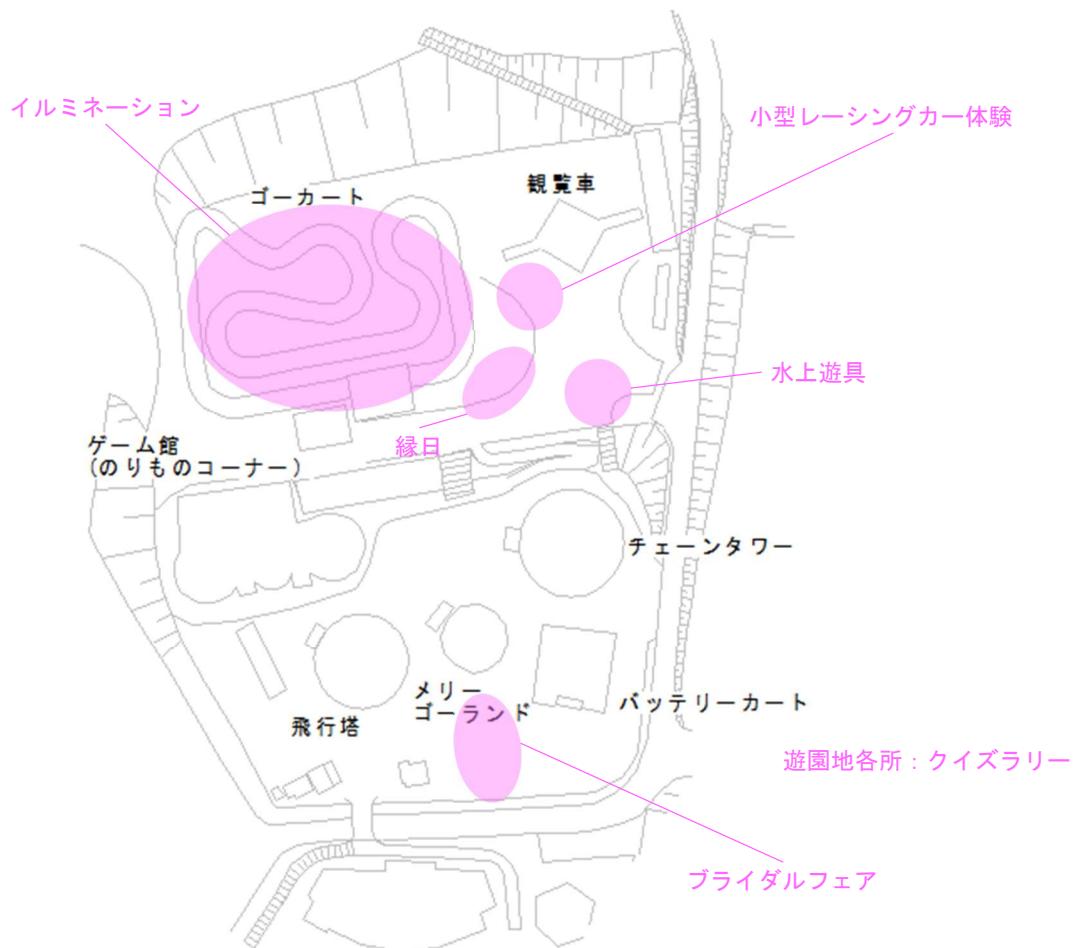
トライアルサウンディング調査の実施概要は以下及び次ページのとおりです。

調査実施期間	令和7年8月1日（金）～9月28日（日）
事業内容	<p>【平川動物公園遊園地】 イルミネーション、小型レーシングカー体験、縁日、水上遊具、クイズラリー、ブライダルフェア 【平川動物公園】 マルシェ、キッチンカー、ビアガーデン、電動モビリティツアー 【錦江湾公園】 電動モビリティツアー、キャンプ ※(市)キャンプ利用者に対する動物公園特別ツアー</p>
利用者数	約3,100人（全日程）

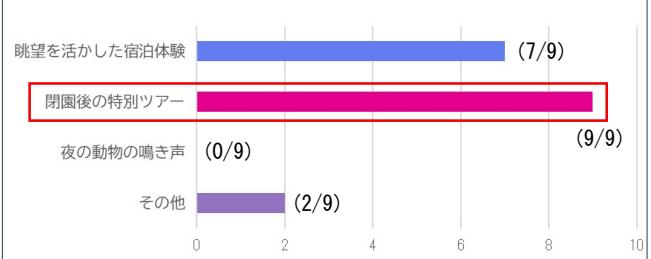
### 【全体図】



## 【平川動物公園遊園地】



参加した利用者からの主な意見は以下のとおりです。

設問	集計結果								
イベント実施について	<p>平川動物公園・遊園地でのイルミネーション・マルシェ等利用者へのアンケートでは、回答者全員が今後も<u>イベントに取組んでほしい</u>と回答されました。(回答者数：43)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>今後のイベント実施について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取組んでほしい (43/43)</li> <li>● 取組まなくてよい (今ままがよい)</li> <li>● その他</li> </ul>  <p>100%</p> </div>								
キャンプ事業について	<p>キャンプ利用者へのアンケートでは、回答者全員が、閉園後の特別ツアーや満足されましたが、トイレ等の既存設備に対して不満が挙がりました。(回答者数：9)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>満足した点(複数回答可)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>眺望を活かした宿泊体験</td> <td>(7/9)</td> </tr> <tr> <td>閉園後の特別ツアー</td> <td>(9/9)</td> </tr> <tr> <td>夜の動物の鳴き声</td> <td>(0/9)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(2/9)</td> </tr> </table>  </div>	眺望を活かした宿泊体験	(7/9)	閉園後の特別ツアー	(9/9)	夜の動物の鳴き声	(0/9)	その他	(2/9)
眺望を活かした宿泊体験	(7/9)								
閉園後の特別ツアー	(9/9)								
夜の動物の鳴き声	(0/9)								
その他	(2/9)								

参加した民間事業者からの主な意見は以下のとおりです。

	民間活力の導入可能性	その他意見等
平川動物公園 遊園地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなどの実施で、利用者を呼び込むだけのポテンシャルがある。条件が整えば(設備充実等)、また参加したい</li> <li>・実施した中でもゴーカート場でのイルミネーションは、入場料を徴収しての集客は困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの実施にあたって、広報・準備時間、関係者の協力体制が不十分</li> <li>・イベント実施にあたってのインフラ設備(特に電源)が不十分</li> </ul>
平川動物公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッチンカーなどの実施で、多くの参加者があった</li> </ul>	—
錦江湾公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場は当初見込んだとおり、施設整備・運営次第で需要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見晴広場(既存キャンプ場以外)での実施は、炊事・入浴・照明・安全対策については、更なる対策が必要</li> <li>・立地条件や利便性(動物公園など周辺施設へのアクセス)が良く、運営方法次第で他のキャンプ場にはない独自性を出した宿泊施設が期待できる(滞在型施設)</li> <li>・キャンプ利用者向けの動物公園特別ツアーや好評だった</li> </ul>
エリア全体の連携策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動モビリティによる平川動物公園と錦江湾公園連携の実証実験を行ったが、料金等により動物公園内のみで、錦江湾公園に足を運んだ利用者は無かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦江湾公園に足を運んでもらうには、核となる公園施設が必要</li> </ul>

平川動物公園遊園地におけるイベント事業や錦江湾公園におけるキャンプ事業は、  
条件が整えば事業者の参加が見込まれる

なお、市によるキャンプ利用者向けの動物公園の特別ツアーや好評であり、引き続き実施方法を検討する必要があります。

## ■調査結果のまとめ

調査を踏まえ、ハード面、ソフト面、施設間連携の取組方針を以下のとおり設定します。

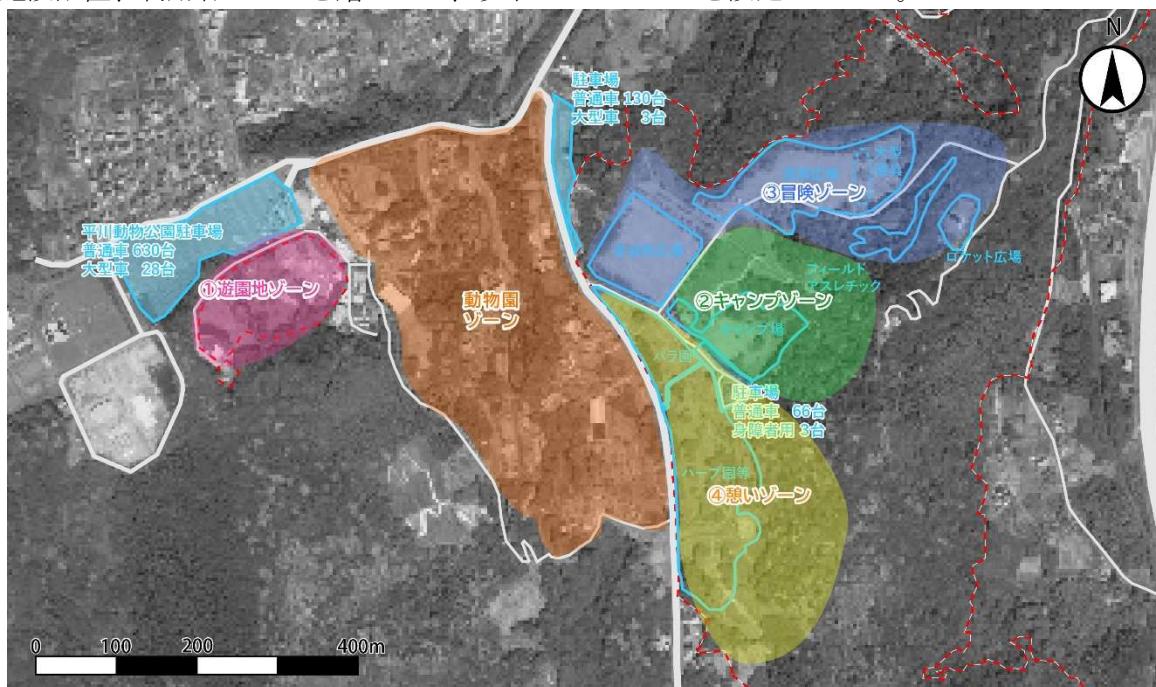
		利用者・事業者ニーズ	民間活力の導入可能性	取組方針
ハード面	平川動物公園遊園地	遊具で遊べる場所のニーズが高い	民間事業者のみでの遊具改修等は困難	遊園地遊具のリニューアル 〔実施主体：市※〕
	錦江湾公園	遊具で遊べる場所やアウトドアのニーズが高い		遊具、キャンプ場などの改修や機能拡充(滞在型含む) 〔実施主体：市※〕
ソフト面	平川動物公園遊園地	今後もイベントに取り組んでほしいという声が多い	イベントの実施で利用者を呼び込めるポテンシャルはあるが、インフラの整備や準備期間等の条件次第	イベント等の実施において民間ノウハウを積極的に活用した取組を推進 〔実施主体：民間〕
	錦江湾公園	動物公園と連携した取組(閉園後ツアーライブ)の満足度が高い		民間活力を活用したイベント実施のための環境整備 〔実施主体：市※〕
施設間連携		施設間移動を促すコンテンツを導入しても、錦江湾公園側に魅力的なコンテンツがなければ足を運ばない	民間事業者による連携策の実施は困難	平川動物公園遊園地と錦江湾公園の連携策を検討 〔実施主体：市※〕

※今後、民間活力導入の申し出があった場合は、その可能性についても引き続き検討

## 第4章 リニューアルの方針

### ■ゾーニング

既存の施設配置、利用者ニーズを踏まえて、以下のゾーニングを設定しました。



GEOSPACE CDS プラス（エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社）の地図を加工して作成

### ■目指す姿(リニューアルコンセプト)

平川動物公園遊園地と錦江湾公園の魅力向上を図り、動物園ゾーンとも連携しながら、これらの施設を一体的に活用し、また来たいと思えるようなエリアの構築を目指します。

## REVISIT HIRAKAWA ～また来たくなる公園～

### 連携策の強化(各施策を今後検討)

- ・ハード施策(ゲート改修 等)
- ・ソフト施策(相互での情報発信 (HP・看板 等))
- ・体験型施策(デジタルスタンプラリー 等)

### 平川動物公園

### 連携策の強化(各施策を今後検討)

- ・ハード施策(臨時ゲート新設 等)
- ・ソフト施策(相互での情報発信 (HP・看板 等))
- ・体験型施策(キャンプ利用者動物公園特別ツアーやユカリ栽培体験 等)

### 平川動物公園遊園地の魅力向上

ハード施策	ソフト施策
遊具リニューアル	民間事業者によるイベント実施 等

### 錦江湾公園の魅力向上

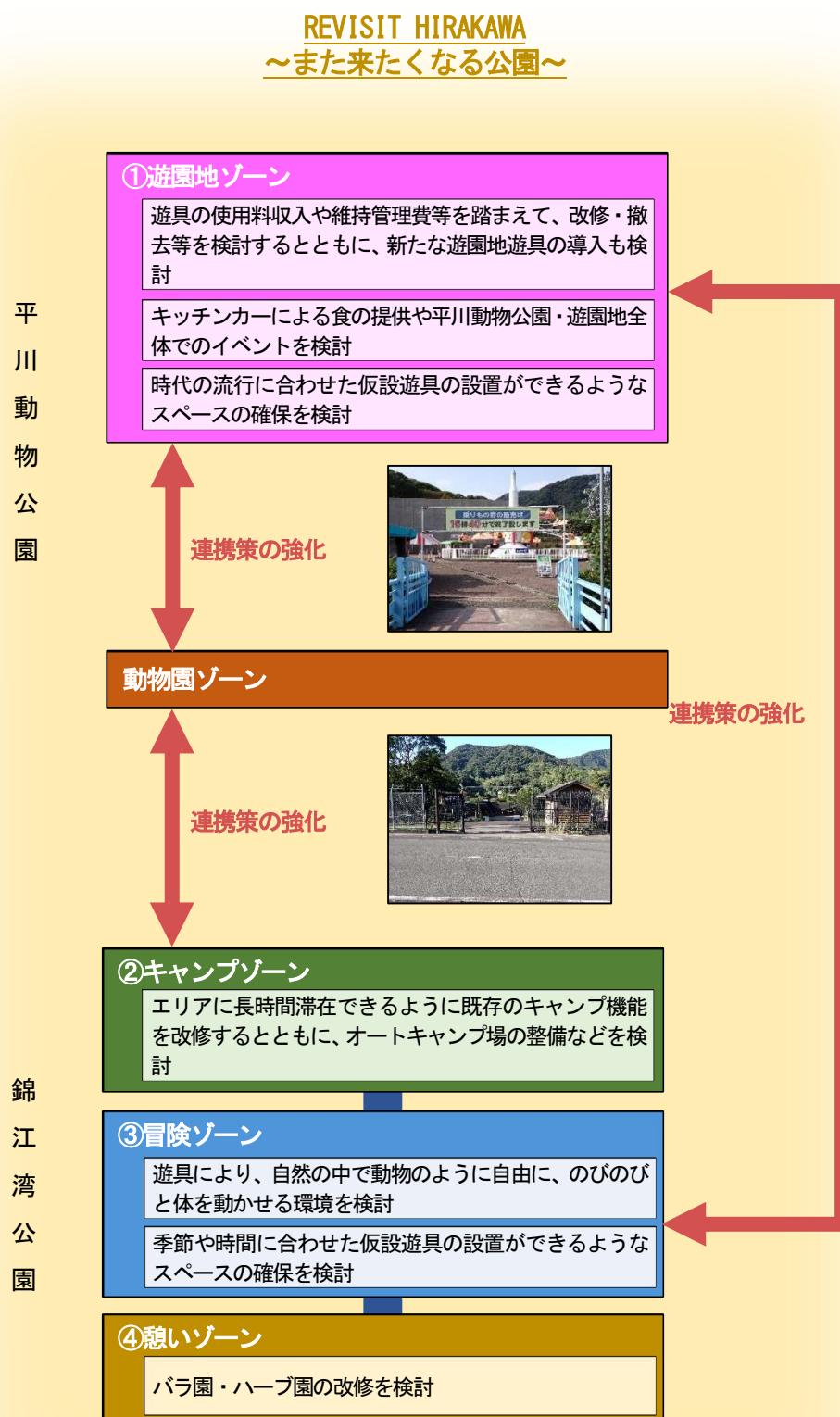
ハード施策	ソフト施策
・遊具改修 ・キャンプ場改修、機能拡充 等	民間事業者によるイベント実施 等

### 連携策の強化(各施策を今後検討)

- ・ソフト施策(相互での情報発信 (HP・看板 等))
- ・体験型施策(デジタルスタンプラリー 等)

## ■リニューアル体系図

目指す姿「REVISIT HIRAKAWA～また来たくなる公園～」を実現するために、各ゾーンにおける導入機能の検討方針(案)を以下のとおり設定します。なお、連携策については、今後、検討していきます。



## ■事業スケジュール

施設全体の価値向上と利用者満足度の最大化を目指して、各ゾーン間での連携を図りながら、リニューアルを段階的に進めることとします。利用者ニーズ・施設の必要更新時期等の優先度を踏まえ、リニューアルの実施時期を「短期」「中期」「長期」に分類しています。

	短期	中期	長期
①遊園地ゾーン	遊具リニューアル 等		
②キャンプゾーン	キャンプ場改修 等		
③冒険ゾーン	遊具改修 等		
④憩いゾーン		バラ園・ハーブ園改修 等	

## 第5章 リニューアル基本構想の実現に向けて

### ■渋滞対策

渋滞対策については、リニューアル導入機能を踏まえて、需要を処理できるような対策を検討していきます。また、短期、中長期でのリニューアル事業段階だけでなく、リニューアル事業の着手前・完了後における需要の変化を見据えるとともに、平常時やピーク時（8月夜間開園時等）の変化も考慮して、適切な渋滞対策を検討していきます。

なお、平川動物公園・遊園地の現在の駐車場利用状況を分析すると、平常時における利用台数は比較的安定しており、既存の平面駐車場で十分に対応できていることが分かります。

費用対効果を見ながら、円滑な駐車ができるよう、料金徴収のシステム化などを検討していきます。

### ■事業手法

現状、それぞれの管理運営について、平川動物公園・遊園地は指定管理者制度、錦江湾公園は一部を業務委託で実施しています。施設間の連携がより強化できるよう、今後、各管理運営面での連携を検討していきます。

民間事業者によるイベント実施などのソフト施策にあたっては、年間を通してイベントが実施しやすくなるような募集方法、基盤整備を検討していきます。

ハード整備にあたっては、民間活力導入が望ましいことから、民間事業者からの提案があった場合は、Park-PFIなどの事業手法が活用できるよう、積極的に検討していきます。